取組項目		大規模・複雑化する各種災害に即応するための警防体制の構築		
現状・課題		社会構造の変化等に伴い、災害が大規模・複雑化・特殊化しており、市民の生命、身体及び財産を守り、被害を軽減するためには、大規模地震に備えた消防インフラの保守及び情報収集能力の向上が要求されています。 ・設置後 50 年以上が経過した経年防火水槽は約 100 基存在し、地震等による頂版陥没やクラック等による漏水が懸念され、老朽化対策が急務となっています。実効性や機動性の高い組織運営を行っていく必要があります。 ・消防行政統合システムの安定稼働を確保し、災害弱者からの通報手段の効率化及び災害情報収集の手段多重化の必要があります。		
取組の内容		(1) 大規模災害等に対する防災対策の推進経年防火水槽における劣化状況調査を6基程度、他部局の協力を得ながら耐震補強調査設計を2件及び耐震補強工事を1件行うことで防火水槽の長寿命化を図り、有効な消防水利の確保を目指しています。あわせて、経年防火水槽の劣化状況調査結果を踏まえ、今後の整備計画の検討及び策定を行うこととしています。 (2) Net119の推進と情報収集体制の充実音声による119番通報が困難な方が円滑に通報を行えるよう、「Net119緊急通報システム」への登録及びバージョンアップを促進するとともに、通報者からスマートフォンで現場映像等を送信できる「119映像通報システム」の受信体制の強化及びシステムを市民に浸透させ、情報収集力の向上を図ります。 (3) 堺市総合防災センターへの無線基地局の移転東消防署から堺市総合防災センターへの無線基地局の移転を行い、大規模災害時における災害対応力の充実強化を図ります。		
スケジュ	前期 (~7 月)	警防課 耐震補強の調査設計及び工事対象の防火水槽の絞り込み、施行起案(5月) 劣化状況調査対象の防火水槽の選定、入札執行依頼(6月) 通信指令課 Net119 緊急通報システムのバージョンアップ版への切替え (6月) 東消防署から堺市総合防災センターへの無線基地局移転準備 (7月) 119 映像通報システムの活用体制強化(4~7月)		
シュール	中期 (~11 月)	警防課 □ 劣化状況調査の進捗管理(10月~) □ 経年防火水槽の整備計画の検討(7月~) 通信指令課 □ Net119 緊急通報システムへの登録促進 (8月) □ 東消防署から堺市総合防災センターへの無線基地局移転 (10月~11月) □ 119 映像通報システムの活用 (8月~11月)		

(様式4)

		警防課 営防課当化状況調査の進捗管理(~3月)経年防火水槽の整備計画の策定(~3月)		
		□ 経中的火水情の整備計画の泉足(~3万) 通信指令課 □堺市総合防災センターのシステム整備 (12月~ □119 映像通報システムの活用 (12月~3月)	3月)	
	次年度 以降	□堺消防署の移転及び北消防署の建替え準備 □消防行政統合システム中間更新についての検討・導	準備	
進捗の状況	1557 75	警防課 □ 耐震補強の調査設計及び工事対象の防火水槽の絞り込みを実施(7月) 通信指令課 □Net119 緊急通報システムのバージョンアップ版への切替え実施(6月~7月) □東消防署から堺市総合防災センターへの無線基地局移転計画書策定(6月) □119 映像通報システムの活用体制の強化実施(4~7月)		
	中期 (~11 月)	警防課 □ 劣化状況調査対象の防火水槽の選定(9月) □ 劣化状況調査の進捗管理(11月~) □ 経年防火水槽の整備計画の検討(11月~) 通信指令課 □Net119 緊急通報システムのバージョンアップ版への切替え継続実施(8月~11月) □東消防署から堺市総合防災センターへの無線基地局移転計画に関連する機関との調整(7月~11月) □119 映像通報システムの活用体制の強化継続実施(8月~11月)		
	後期	警防課 □ 劣化状況調査の進捗管理(~3月) □ 経年防火水槽の整備計画の検討(~3月) 通信指令課 □ 堺市総合防災センターのシステム整備 (12月~3月) □ 119映像通報システムの活用 (12月~3月)		
堺市基本計画 2025	該当する 施策	5-(1)自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
	寄与する KPI	_	目標値(2025 年度)	
	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 		
	寄与する KPI	-	目標値(2023 年度)	